

園芸クリエイト科 Q&A

Q1 園芸クリエイト科の「特色」は？

- A. 本校の学科の中で最も「植物」や「土」とふれ合う機会が多く、食料生産の基礎的な知識や技術を学ぶと共に農作物の生命力や収穫の喜びを実感することができる学科です。**2年次から草花を主に学ぶ「施設園芸コース」、果樹を主に学ぶ「果樹園芸コース」に分かれます。**また、植物バイオテクノロジーや施設栽培、フラワーアレンジメント、園芸デザインなど新しい農業分野についても学習することができます。

Q2 園芸クリエイト科に向いている人は？

- A. 果樹・草花などに興味関心が高く、将来農業経営者や農業技術者を目指している人や卒業後さらに進学をしたいという意欲のある人で、植物や土と親しむことが好きな人が向いています。



Q3 園芸クリエイト科の農業科目の学習内容は？

A.

農業科目		主な学習内容
農業と環境		エダマメやハクサイなどの栽培を通して、農業に関する基礎的な知識や技術について学習します。日本農業技術検定3級の学習も行います。
農業と情報		パソコンを使ってワープロソフトや表計算ソフト等の活用について学習します。また、文書デザイン検定3級、情報処理技能検定(表計算)3級、ホームページ作成検定2級、プレゼンテーション作成検定2級の学習も行います。
植物バイオテクノロジー		草花や野菜を利用して無菌播種や組織培養等に関する基礎的な知識や技術について学習します。また、危険物取扱者試験(丙種)など資格取得の学習も行います。
栽培と環境		園芸作物を取り巻く気象・土壌・生物条件全般の理解を深め、収量・品質を高めるために必要な技術・知識を学びます。また施設園芸等の仕組みに関する学習にも取り組み、環境制御の技術などについても学びます。
野菜		野菜に関する基礎的な知識・栽培方法について学び、生産した野菜を有効に活用しています。また、最新の栽培施設を利用した野菜の栽培技術を身につけ、生産と経営に必要な資質・能力を養います。
施設園芸コース	草花	基本的な栽培育成技術の習得と共にプロジェクト研究の基礎などを学習します。
果樹園芸コース	果樹	果樹栽培の基礎的な知識や技術、果物の利用や貯蔵管理、販売方法などを学習します。
コース別	総合実習	実習が主体で、草花・果樹の分野で栽培している作物の栽培管理を通して、専門的な知識や技術について学習します。また、1年次から3年次まで、放課後や長期休業中に作物の管理当番を順番に行います。
	課題研究	3年間の農業学習の集大成として、自分で考え決めたテーマに添って調査研究を行い、その成果を報告集(研究レポート)にまとめたり、パソコンを用いて研究発表を行います。
学科内選択	生物活用	様々な園芸植物の福祉的な利活用について、基本的な栽培実習を通じて学びます。
	食品製造	自分たちで栽培した野菜・果樹等を利用して、食品の製造について学びます。
	野菜	1,2年次の野菜栽培に関する学習を発展させ、実践的な栽培知識・技術を身につけます。
	農業機械	農業機械の構造や仕組みを学習し、実際に農作業に必要な農業機械を操作します。

<主な授業風景>



<農業と環境：エダマメの収穫>



<農業と情報：HP作成検定試験>



<課題研究：課題研究発表会>



<草花：シクラメンの栽培>



<果樹：サクランボの収穫>



<野菜：施設温室での栽培>

Q4 園芸科で取得可能な「資格」は？

A. 危険物取扱者試験(乙種1類～乙種6類、**丙種**)、毒物劇物取扱者試験(一般)、簿記能力検定、電卓計算能力検定、**文書デザイン検定、情報処理検定試験(表計算)、ホームページ作成検定、プレゼンテーション作成検定、初級バイオ技術者認定試験**

日本漢字能力検定、フォークリフト技能講習、小型車両系建設機械(バックホー)運転業務特別教育、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、**FFJ(日本学校農業クラブ)検定(特級～初級)**、フラワー装飾技能検定、日本農業技術検定2・3級 (※ゴシック体の資格は専門科目の授業内で扱う資格)

<農業クラブで活躍する生徒たち>

農業クラブの各種大会では、日頃の農業に関する科目の学習や研究など、農業クラブ活動の成果を発表しています。全国大会まで開催される農業高校生の晴れ舞台です。



<フラワーアレンジメント競技県大会 最優秀賞>



<全国大会プロジェクト発表会出場(果樹班)>